

日本共産党 蕨市議団 6月市議会報告



市役所庁舎など
今後の公共施設
整備方針

市会議員
梶原 秀明

中小企業診断士
@KajiwaraHideaki

蕨市では頼高市長就任前、公共施設の耐震化などが重視されませんでした。それに対し頼高市長は、2008年4月の市政検証委員会報告書で、公共施設の維持管理の対応方針を示し、学校施設、保育園、公民館等の耐震化などの整備を進めてきました。これらをさらに進める準備として、今年3月、公共施設マネジメン

ト白書を地方自治研究機構と共同で策定しました。私はこの内容について質問しました。
【梶原】施設調査の結果など、白書の概要はどうか。
【総務部長】築年数が40年以上経過したもの、総床面積の約3割を占め、耐震化や長寿命化等の対応が必要となっている。将来の施設更新費用を推計した結果、過去5年の投

資経費実績を大きく上回る更新費用が必要となった。
【梶原】①施設の長寿命化の効果。②施設の所有権の考え方。③住民の合意形成。それぞれどう考えているか。
【部長】①建物の建て替えを60年から70年にすると、更新費用は1年あたり約1・8億円低くなる。②必要な施設を市が所有する意義は大きい。施設更新に多額の費用を要し、白書では民間活力の導入の検討が示されている。検討する場合でも、住民サービスを低めないよう十分配慮する。③市民と議会の協力が不可欠だ。(施設整備の具体案の)実施にあたっては、市民アンケー

トや説明会も検討したい。
【梶原】3点提案する。①使える施設を使い切る長寿命化につとめること。②地域コミュニティを維持し、住民の利便性を損なわないようにすること。③民間資金の導入によって自治体の所有権・管理権に制約を受けないようにすること。市長の考えはどうか。
【頼高市長】①施設を適切に修繕し、より長く使っていく。長寿命化は重要な方針の柱の一つだ。②将来、施設の見直しもあるかもしれないが、当然、議会と住民の理解が必要だ。③財政負担の軽減と市民サービスの向上につながるのか、見極めながら判断したい。



障害者差別解消法
について

市会議員
宮下 奈美

◆障害者差別解消法について
【宮下】障害者差別解消法は今年の4月1日から施行された法律で、障がいがあってもなくても一人ひとりを大切に「共生社会」を目指す内容。蕨市としての対応は。
【健康福祉部長】対応要領を定め、職員への研修・啓発に努める。また、同法の支援協議会も組織し設置した。

【宮下】公共施設のバリアフリー化の現在の状況は。
【総務部長】近年は小中学校体育館にスロープ、身障者用トイレを設置した。
【宮下】選挙時のみどり保育園投票所のバリアフリー化の状況はどうか。
【部長】7月10日執行の参院選挙から、園入口に呼出しチャームを設置、投票所入口に

簡易スロープを1台増やし計2台を設置する。
【宮下】市民課窓口の設備や対応について、体の不自由な人が支援の申し出をしやすい表示等の設置や、安心して待つ事ができる仮称「安心エリア」を設置する考えは。
【部長】カウンターの多くが健常者用(車いす等に対応していない)なので、今後レイアウト変更等を行う場合に窓口の設備について法律の求める「合理的配慮」の観点も含めて検討していきたい。表示等の設置は記載台やカウンターの下部に、支援の必要の人が申し出をしやすくなるような文言を加えた表示をする等工夫

していききたい。「安心エリア」は狭小な庁舎内に新たなスペースを設置することは非常に難しいが、どのような対応が可能か検討していきたい。
◆富士見野球場の管理と環境美化について
【宮下】富士見公園内野球場について市民から、観覧席周辺に吸い殻やゴミがあり、全体的に雑草が茂っている事等の指摘があるが、対応は。
【都市整備部長】8時半〜17時まで管理人が常駐し管理を行い、委託業者が剪定や芝刈りを行う。観覧席周辺の吸い殻等は改善に向け看板の設置や管理人の指導で利用者のマナー向上を促していきたい。

南町で児童保育室を新たに開設 引き続き必要な増設を

日本共産党蕨市議団の本会議質疑

6月3日から23日の日程で6月定例会市議会が行われました。市長提出議案は、条例案、補正予算案、市民体育館の耐震化工事の契約案件等7件。すべて可決されました。
日本共産党市議団は、法定受託事務であるマイナンバーの関連条例に対し、市民の影響について質疑。家庭的保育事業の基準を改正する条例には、国が求める基準緩和を蕨市の運用においては適用しな

いよう求めて質疑しました。
一般会計補正予算では南町学童室(3ヶ所目)の暫定運用の経緯と、南小敷地内への設置に向けた詳細について質疑。また、一般質問などを通して、急増する入室希望にこたえて他地区でも増設をすすめるよう要望しています。
なお、南町学童室は7月に暫定運用が終わり、南小敷地内に新たに開設されました。

党は理由を述べず反対、不採択となりました。

消費税増税は きっぱり中止を

市内6団体が陳情

安倍首相は、参議院選挙を前に消費税10%への増税を先送りすると表明しました。増税中止を願う国民の世論と運動の成果です。

陳情は、個人消費や実質賃金低下などの実態を示し増税の中止を求めています。日本共産党は「アベノミクスは破綻している。暮らしを応援する経済政策こそ必要」と賛成討論。しかし、新生会・民進党は討論で、将来の増税は必要との立場を示し反対(公明

日本共産党 蕨市議団ニュース

2016年8月号

事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531

市議会議員 鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
梶原秀明 ☎447-1928 宮下奈美 ☎211-0922

ホームページ www.jcp-warabi.jp
メール info@jcp-warabi.jp

日本共産党 蕨市議団 6月市議会報告



防犯灯の管理、歴史民俗資料館の充実など質問

市会議員
鈴木 智

フェイスブック
ツイッターでも発信中

◆防犯灯のLED化

【鈴木】今年度、すべての防犯灯がLED化される予定だが、どのような計画か。

【市民生活部長】5月に業者を入札で決定。7月から実地調査、年内に工事を行う。

【鈴木】これまで町会への説明はどのように行われてきたか。維持管理の体制はどのようになるのか。

【部長】新設はリース事業導入時に実施したいと考え、予定している全ての新設箇所を把握したい旨説明してきた。維持管理での町会の負担軽減と一元管理を図るため、今年度LED化する防犯灯の他、既存のLED防犯灯の維持管理もリース会社で行う。不具合などの受付はリース会社のコールセンター及び市で受付。

町会には、引き続き、新設や移設・撤去要望の取りまとめをお願いする。

【鈴木】支柱が老朽化し危な状況もある。対応はどうか。

【部長】今年度、全支柱の調査を行い、老朽箇所は建て替えを予定。リース期間中も支柱の点検を行う。

【鈴木】通報の受付をコールセンターでも行うということだが、緊急性の判断ができるかは不安。必要なものについては市が立ち会い判断、決断する必要があると考える。

【部長】連絡がコールセンターにいつても市に来て、すぐに対応する。業者とは緊密な連絡体制をとる。

◆歴史民俗資料館の展示

【鈴木】常設展示の内容は。廠の成り立ちや、双子織・蕨空襲などの近現代にかかわる展示を行うなど、常設展示を充実させる考えはないか。

【教育部長】現在は、蕨宿と綿織物業の中心的生産地であった歴史を中心に展示している。また、入口のスペースではテーマを定め小規模な展示を行っている。中心の構成は変えずに、常設展示入口スペースで、所蔵する資料を活用して展示を充実させたい。

◆他に、道路照明灯等の安全点検と維持管理について、水道漏水時の料金等の扱いについて質問をしました。



電力自由化に伴い公共施設でも自然エネルギーの活用を

市会議員
やまわき 紀子

フェイスブックで発信中

【山脇】電力自由化によって市民は電力についてさらに考えるようになった。便乗したトラブルにあわないような注意喚起が必要だと思うが。

【市民生活部長】電力小売り自由化に便乗した悪質商法に対する注意を促すため、チラシを掲示し周知を図る。

【山脇】市庁舎や小中学校での新電力会社との契約や使用

状況はどうか。

【総務部長】市庁舎と小中学校に、年間使用電力約180万kWhを蕨戸田衛生センター組合のごみ焼却による発電の余剰電力から供給する電力の地産地消にとりくみ、新電力会社と契約を締結し供給している。

【山脇】脱原発をすすめる立場から、他の公共施設の電力

についても再生可能エネルギーの導入をすすめてほしい。

【部長】30施設を、再生可能エネルギーの活用を含めた環境負荷軽減にも配慮している新電力会社へ変更する手続きを進めている。1年間で5%程度、約90万円の節減効果を見込む。

◆**新年度の待機児童数は。引き続き、待機児童ゼロをめざしての取り組みはどうか。**

【健康福祉部長】4月現在3人。今後とも必要性を見極めながら認可保育園や小規模保育室の整備を進め、引き続き待機児童ゼロをめざしていきたい。

◆**留守家庭児童指導室の増設を**

【山脇】北小学校区と塚越小学校区の増設の整備工事が進められ、2017年4月開設を予定しているが、運営にあたっての対応は。

【部長】原則として直営による運営を目指す。指導員が十分確保できない場合でも確実に運営を開始し、ニーズにこたえられるよう民間への運営委託の準備も並行して進める。

【山脇】西小学校の施設内への増設の考えはどうか。

【部長】西小学校区の利用児童数の増加に備え、学校施設内への増設を検討する。

◆**ほかに「女性職員の積極的登用」を質問しました。**

市長タウンミーティングに過去最高の490人

頼高市長の市長報告

6月議会で行われた頼高市長の市長報告から主なものを紹介します。

◆市長タウンミーティングに過去最高の490人が参加寄せられた意見は可能な限り市政に反映させたい。

◆市立保育園全園で土曜夜7時までの延長保育を実施(7月から)。

◆蕨市PR大使に将棋の女流棋士の中井広恵さんが就任。

議会改革特別委員会の設置

議会最終日に、議会改革特別委員会の設置と、市役所の整備を求める決議を、全会一致で可決しました。

議会改革委は前任期にも設置され、議会基本条例の制定、議会報告会の開催などの成果につながっています。今任期は更なる改革を進めることを、会派代表者会議で確認しています。日本共産党から鈴木議員が委員として参加します。

市役所耐震化整備を求める決議

決議は、蕨市のこれまでの整備を評価し、さらに推進することを求めたもの。頼高市



長就任前、施設の耐震化はほとんど進んでいませんでしたが、頼高市長は、市民生活を優先し、学校施設、保育園、公民館の整備を実施してきました。今議会では、市役所にも着手できる環境が整ってきたとし、今年度中に、市役所耐震化整備案を議会と市民に示したいと発言しました。

蕨市ではじめて議会主催の報告会を開催

5月22日、議会報告会が全議員と市民62名の出席で行われ、活発に意見が交わされました(写真)。

お気軽にお声掛けください

日本共産党市議団の市民相談

8月 10日(水) 31日(水)
9月 14日(水) 29日(木)

時間：午後2時～4時
場所：市役所4階 日本共産党市議団控室

相談無料 当日の電話は 432-3590